

やる気！元気！ありがとう！

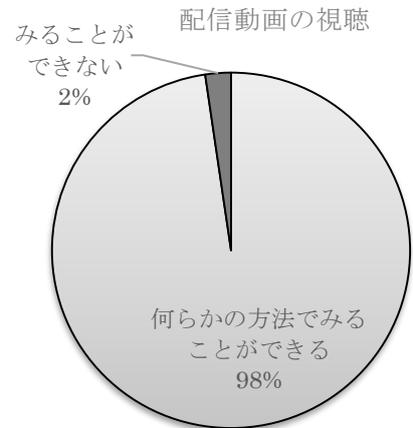
飯小学校
校長室だより
第3号
令和2年6月1日

今日から6月です。全国的に緊急事態宣言が解除となったものの、人の移動による感染拡大や第二波の流行の恐れを考えると決して楽観視できる状態ではありません。学校では、気を引き締めながら、子供たちが元気に教育活動を行うことができるよう取り組んでいきます。

さて、臨時休業中に健康と生活についてのWEBアンケートを3回（4月24日、30日、5月6日）実施しました。その際、ネットワーク環境等について調査しましたので、結果をお知らせします。

1 配信動画を視聴できるか

1回目のアンケートで「お子さんは、学校が配信する動画をみることができますか。」という質問に対して、①何らかの方法で見ることができる、②みることができない、のどちらかを選択してもらったところ、346人中338人が①という回答でした。学校では、②の「みることができない」と子供を含め全ての子供が動画をみることができるようになりたいと考えました。そこで、学校にある児童用のタブレット型コンピュータで動画を視聴できるように準備をしました。図書を借りて来校した際に、学校でみていった子供やタブレット型コンピュータを借りて帰った子供もいました。

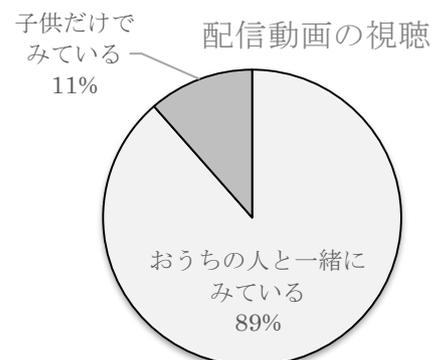
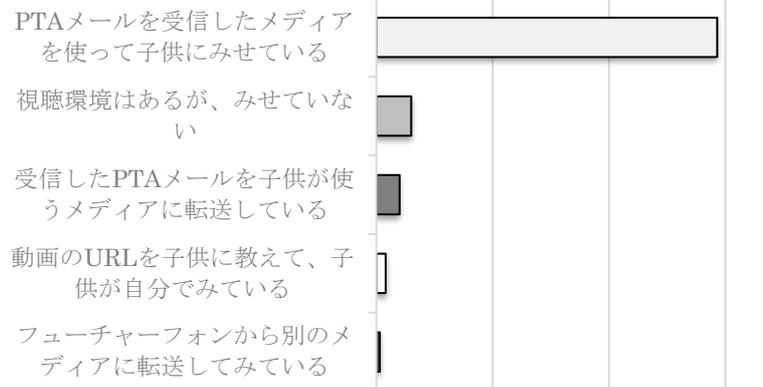


2 どのように視聴するのか

動画を視聴できる子供は、どのような方法で視聴するのか調べてみました。最も多かったのは、「PTAメールを受信したメディア（保護者のスマートフォンなど）を使って子供にみせている」という回答でした。つまり、ほとんどの子供たちは、保護者のスマートフォンなどを借りて動画をみているということです。中には、子供が自分でみることができるよう工夫している家庭もあるようです。

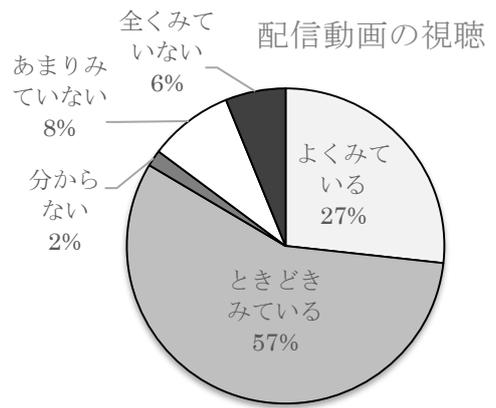
逆に、「動画を視聴できる環境があっても子供にはみせていない」という場合もありました。保護者のスマートフォンで視聴はできるのですが、日中は仕事で持ち出してしまうので子供にみせることができない場合です。教員が子供たちにみてもらいたくて作った動画ですので、できるだけ子供たちにみていただきたいのですが、各家庭で事情があります。今後は、保護者のスマートフォンではなく子供が使用するメディアで視聴ができるように工夫していく必要があると考えました。

視聴方法



3 どれくらいの子供がみているのか

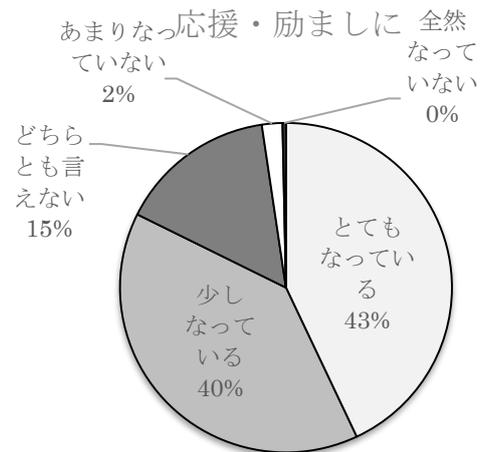
「お子さんは、臨時休業中の配信動画をみえていますか」という質問に対して、「よくみている」「ときどきみている」という子供が84%いることが分かりました。ただ「全くみしていない」という子供が6%います。先に説明しました「保護者が使用しているメディアの画面をみせることができない」場合のほか「保護者のメディアがフューチャーフォン（ガラケー）で、動画を視聴できない」場合や「子供が祖父母の家にいる」場合など、様々な理由があります。



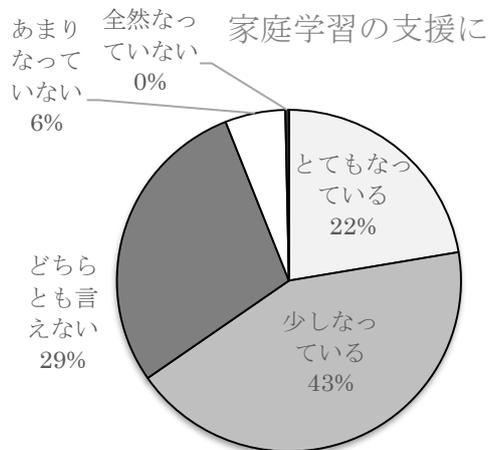
4 動画配信の目的は達成したか

「臨時休業中の子供たちを応援したり励ましたりする」や「家庭学習の支援をする」という動画配信の目的は達成できたのでしょうか。

動画をみることができた子供たちにとって、動画配信は応援や励ましになったか、回答していただいたところ、右のグラフのようになりました。肯定的な回答が83%あり、否定的な回答は2%しかありませんでした。多くの保護者の皆様から、動画配信が子供たちの応援や励ましになったと評価いただいていることをうれしく思います。



一方、動画配信が家庭学習の支援となったのか回答いただいたところ、肯定的な回答が65%で、否定的な回答は6%でした。これについても多くの保護者の皆様からよい評価をいただきましたが、配信した動画の内容が子供の家庭学習に結び付いていたか、という点で応援や励ましに比べて厳しい評価となりました。



学年によっても配信動画の内容に違いがありますが、各学年の学習内容に合わせたものは少なく、どの学年でも興味をもって取り組んでもらえる内容が多くあります。その分、他学年の動画をみて挑戦した子供も多くいたようです。

これらのアンケート結果から、臨時休業中の動画配信は、目的を達成したものと考えています。

アンケートでは、保護者の皆様から元気が出るメッセージをたくさんいただきました。「担任の先生の動画をとても嬉しそうに見ていました。先生方の顔を見られることで元気をもらっています。このような取組、大変ありがとうございます。先生方もお体に気をつけてください。」などです。

学校独自の動画配信に取り組んでいる学校は、全国的にもまだ非常に少ない状態です。インターネットを通じた遠隔授業にしても、世界に比べて日本はととても遅れています。飯小学校では、今後も様々なツールを利用して、ネット社会を生きる子供たちの力を伸ばしていきたいと考えています。インターネット利用につきましては、保護者の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。